

署員の演技を真剣に見つめる住民



実践に即した救急学級で知識深める

◎鬼北の里救急学級

救急医療に対する正しい知識を身につけてもらうことを目的とした「鬼北の里救急学級」は9月11日、近永公民館講堂で行われ、訪れた住民らが救急医療について知識を深めました。鬼北消防署主催で行われたこのイベント。けが人の搬送方法、応急手当の方法やAEDの使用、方法などのコーナーが設けられ、署員から丁寧な説明が行われました。また、住民らも実際に各コーナーで体験するなど、充実した救急学級になったようでした。

トウキビを焼く児童と穀彩村会員



日吉小児童収穫の喜びを味わう

◎日吉小児童トウキビ収穫

6月に日吉小3年生児童17人がまいたトウキビが実り、その収穫が9月7日、日向谷穀彩村（渡辺正志村長・会員9人）の畑で行われました。児童らは、会員指導の下、大きく実ったトウキビを一つ一つ収穫し学校に持ち帰りました。そして、それを炭火で焼いて全員で嬉しそうに食べていました。渡辺会長は「今年は甘味もあり、柔らかくできたので良かった」と話し、子どもたちと収穫の喜びを分かち合っていました。

麻生本部長から表彰を受ける上本会長



地道な奉仕活動に表彰

◎「小さな親切運動」表彰式・伝達式

「小さな親切運動表彰式および伝達式」は9月12日、鬼北町中央公民館で行われ、元教員の女性で構成する「こども会（上本啓子会長・会員21人）」が小さな親切運動愛媛県本部から表彰を受けました。今回の表彰は、こども会の日頃のボランティア活動が認められたもの。本部長の麻生氏は「皆さんのような活動をする人がもっと増えてほしい」と評価し、それに対し上本会長は「今後ともより一層頑張りたい」と気持ち新たにされた様子でした。

甲岡町長から表彰状を受け取る参加者



先人の労苦に感謝し敬老の日祝う

◎鬼北町敬老行事

長寿を祝い、数多くの労をねぎらう敬老の式典が町内6地区（三島地区は7月開催）で開催され、70歳以上の住民3,675人が招待されました。式典では甲岡町長から表彰状と記念品が百寿者と米寿者に手渡されました。そして演芸の際には、小中学生から祖父母に書いた作文発表があり、それを聞いた参加者らは目を細めていました。また、本町最高齢者の橋本トモエさん（102歳・興野々）に表彰状と記念品が贈られました。